

# 2021年度 分野別計画進捗等報告書

体系番号

04010101

## 1. 計画名称

農業振興ビジョン

## 2. 計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	おおむね順調	説明	認定農業者から自給的農業者まで、多様な担い手に対する支援策が実施され評価を得ている。令和2年度から環境に配慮した農業資材(生分解マルチ)の補助事業に着手しており、今後も継続及び拡大を求められている。
今後の重点化施策番号	3	説明	令和4年度で湿田対策事業が終了するので、今後の事業の在り方を検討していく必要がある。市議員からは「事業材料費だけでなく、工事費に対しても支援が必要」といった意見がある。個人に対する電気柵(鳥獣被害対策)の補助についても検討は行ったが、地区全体の防護柵を管理することで対策を進めていくという方向性に定まった。

## 3. 各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	農業経営体の確保・育成	順調	認定農業者に対して農業用機械等の購入補助事業と農業研修生に対する研修費補助事業を行っている。機械補助は、予算を上回る申請があり補正予算対応をした。新聞報道にも取り上げられ、農業関係者から高い評価を得ている。	集落営農組織の設立に向けて2地区から相談があった。矢作地区の設立は断念したとの報告があった。泉野地区については法人設立を目指してはいるが、主体となる経営者の存在が必要となる。	今年度より農業用機械等の購入補助については予算編成前の事前要望調査を行うことにより、予算内の執行を行うこととしている。特に問題はなく推移している。 集落営農は新規設立を目指すよりも今ある組織の継続及び発展に力を入れていく段階に来ている。
2	農業生産力の向上	順調	認定農業者に対して農業用機械等の購入補助事業を行うことで、経営体の確保育成と共に農業生産力の向上に対しても支援が行われている。各関係機関からの評価も非常に高い	資材価格の高騰が予想されている。生分解マルチは価格が高いため利用率が低くなってしまうが、今後の影響を注視していく必要がある。	カッタドレーン(土中排水溝)の効果試験を行い、レンタル農機具等への導入支援策を検討しているが、5年に一度水稲に戻さなくては補助金が出なくなることと考えると、需要が低くなる可能性がある。
3	優良農地の保全と活用	おおむね順調	用水路等の施設の改修や改良の要望は多く、重要度や劣化度の優先順位をつけて、対応している。湿田対策は、昨年より多い4.8haの湿田を解消した。鳥獣被害対策事業では防護柵の設置300m(北大塩区)を行った。	ほ場整備で同時期に広範囲地区を整備したため、耐用年数が経過した施設が多い。予算の範囲内で事業実施は困難な状況にある。 広域防護柵の計画的な設置及び補修箇所の整備が必要な時期が来ている。	湿田対策補助金利用者が増えるよう、PRの促進や今後の事業の在り方を県と調整する必要あり。 有害鳥獣対策は面的な対策を行うことで効果を発揮させるため、地域でまとまって防護柵を設置し広域的な対応(材料費補助)を実施。鳥獣対策専門員との現地確認を行い現場にあった対策を検討する。

※5つ以上の場合は裏面へ

4. 関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

		主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称		<p>地域の現状を支える法人及集落営農組織等に対する支援は継続が必要である。大型農家はもちろんのこと、小中規模農家や農作業受託組合等へも農地荒廃抑制や維持管理等を対策するという観点から支援が必要となってくる。今後は新規就農者獲得を中心とした農業施策が必要という意見もあった。事業によって在り方を検討すべきという意見があるが、基本的には現状の支援策の継続及び拡充が求められている。</p>	<p>現状の施策は農業振興ビジョンの柱に対して幅広い対応が出来ていると考えている。今後の農業に対する必要な支援は多方面に分散している状況である。各問題点はどれも重要であり、支援額の増額が望ましい状況ではあるが、市の財政状況が悪化しており、今後どの分野の支援に力を入れるかを明確にし、特定の事業に注力していく必要があると感じているので、農家の意見を取り入れながら、農業生産力の向上に寄与するように対応していきたい。コロナ禍や燃油高騰の影響等もあるので、セーフティネットの普及や価格販売促進対策も必要となる可能性がある。</p>
農業振興ビジョン推進委員会			
開催回数	2		
参加延べ人数	32		
関連市民団体等名称		<p>諏訪地域管内で茅野市は農業支援が低い状況であったが、改善がされていると感じる。</p> <p>鳥獣被害等も電気策等個人への支援であれば活用できる。</p>	<p>農業支援策を充実させることが期待されている。地道な農業支援が農業生産力の維持に繋がると考えます。鳥獣被害は広域では一定の効果が挙げられているが、被害の出やすい場所や品目などに対して柔軟に対応していきたい。</p>
茅野市農政審議会			
開催回数	2		
参加延べ人数	44		
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			

5. 添付資料

別紙「施策評価シート」